

子どもたちにとって実りの多い2学期に

校長 高野 英俊

2週間という短い夏休みがあつという間に終わり、2学期がスタートしました。残暑厳しい中ですが、個人面談への御協力ありがとうございました。子どもたちについての情報の共有は、指導を進めるにあたり、とても大切なものです。今回の面談内容をもとに、御家庭と学校とでしっかりと連携をとり、子どもたちの成長を図ってまいります。

2学期9以降の新型コロナウイルス感染症に対応した学校教育活動にあたっては、これまでと同様に学校・家庭・地域が力を合わせて子どもたちの学びをしっかりと保障する

観点に立って対応していかなければなりません。原山小学校の子どもたちの様子を見ると、マスク着用や手洗いなどの習慣はかなり身につけてきているように感じます。それらを踏まえ、2学期は教育活動を徐々に広げていきます。給食当番や清掃活動等の子どもたちの役割を見直すと共に、クラブ活動などをスタートします。また、来月には「体育授業公開日」を予定しております。通常の運動会や授業参観を実施できない現状の中、子どもたちの学習の様子を保護者の皆様に参観いただけるようにと考えました。その一方で、トイレや高頻度接触部位（手すりやドアノブなど）の消毒等の感染防止作業は緩めることなく今後も継続してまいります。御家庭でも子どもたちの健康観察や感染防止のお声がけを引き続きよろしく願いいたします。

ところで、8月17日の始業式の際に、日本赤十字社作成の動画「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を全校で視聴しました。このウイルスには3つの「感染症」という顔があること。第1は「病気そのもの」、第2は「不安と恐れ」、第3が「嫌悪・偏見・差別」。本当の敵はウイルスであるのに不安や嫌悪・差別によって敵がすり替わり、本当の敵を見なくなってしまう、差別を怖れて受診をためらい、結果として病気の拡散を招くという負のスパイラルで感染症がより拡がっていく。負のスパイラルを断ち切るには「確かな情報」を拡め、差別的な言動に同調しないこと。長期戦になるかもしれないウイルスとの戦いを皆がひとつになって進めようという内容です。動画視聴後に発達段階に応じて各クラスで話し合いました。ぜひ御家庭でも話題にさせていただき、生活・行動の在り方を考えていただければと思います。

しばらくは気温の高い日が続きそうですが、徐々に涼しくなり学習に適した気候となります。秋は実りの季節。子どもたちにとっても実りの多い2学期とするため、教職員一同「元気・やる気・勇気」をもち、日々子どもたちの成長を喜びとし、一人ひとりをさらによく見て指導にあたってまいります。保護者地域の皆様には、これまでと変わらぬ御理解御協力をどうぞよろしく願いいたします。

